

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

(平成18年度事業)

施 策 名 (小項目)	精神保健	コード	作 役	職
		02-02-03	成 氏	名
			者 電	話
				保健課長 末長章彦 64-1819

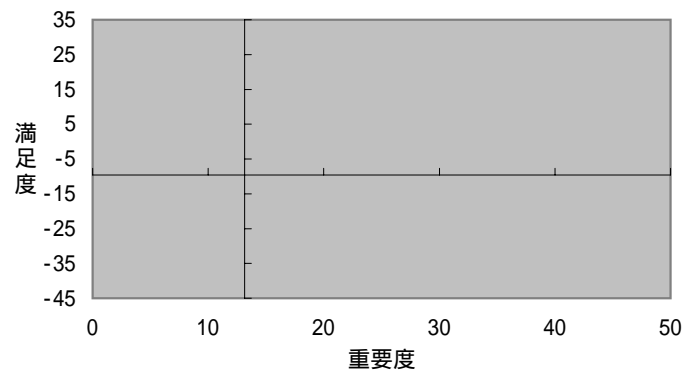
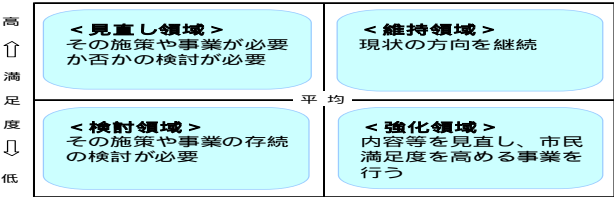
備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目（基本目標）	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目（基本施策）	健やかで生き生きしたまちづくり

<p>施策の対象と目的</p> <p>(誰のために、何のために)</p>	<p>精神障害者が適正な治療を継続し地域で暮らせる</p>
<p>現況と課題</p> <p>(総合計画から現在の問題点を抽出)</p>	<p>社会環境や人間関係の変化・複雑化により、心の健康が損なわれ易い状況にある。こうした状況の中で精神障害者の人権に配慮し、自立にむけての支援や社会との交流促進を図るため、施策を推進していく。</p>
<p>施策展開</p> <p>(総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識の普及啓発 ・ 相談窓口の充実 ・ 社会復帰の促進 ・ ・ ・ ・

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度 (%)			
満足度 (%)			



<p>調査結果に対するコメント、市民の反応等</p> <p>〔 調査対象でない施策の場合は、市民の反応等 〕</p>	<p>障害者自立支援法の施行に伴い、共同作業所の運営も大きく様変わりしている。こうした中、精神障害者の保護者会も施策の拡充を強く要望している。</p>
--	---

施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名			単位	評価年度			目標値		ベンチマーク	指標の説明
				H17	H18		H23	H28		
1	通院医療費支給率	目標	%	88.0	93.0		95	95		精神疾病患者通院医療費受給延人数/対象延人数
		実績	%	85.7	89.5					
		達成率	%	97.4	96.2					
2	作業所利用率	目標	%	80.0	80.0		85	85		作業所通所者数/作業所定員
		実績	%	78.6	71.4					
		達成率	%	98.3	89.3					
3		目標								
		実績								
		達成率	%							
4		目標								
		実績								
		達成率	%							

施策構成事務事業の評価

担 当 課 長 評 価

[illegible]

この施策に要した費用（人件費込、単位：千円）	H17	H18	H19
	11,973	10,389	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
日生総合支所市民福祉課	地域交流サロンとまり木	精神障害者患者会への保健師を中心とした支援
保健課保険医療係	心の健康相談	精神科医師による精神科相談

施策の評価

施策の評価		5：非常に高い 4：高い 3：どちらともいえない 2：低い 1：非常に低い			
項 目	一次評価		二次評価		
	評価	判断理由	評価	判断理由	
1 目的達成度	4	通院助成については90%の支給率で、経済的支援により継続的治療を実施している。	4	申請が出てきている数値を見る限り達成度は高い。	
2 事業構成の適当性	4	継続的治療環境と社会復帰の機会提供の両面から精神障害者支援を実施している。	4	障害者の自立支援の観点からも妥当である。	
3 施策の有効性	4	精神障害者のいる国保世帯では低所得の世帯が多く、この支援により継続治療を受診できている。	4	障害者自立支援法との関連もあるが、この施策は有効である。	
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	精神障害者が地域で生活するためには、地域の理解と保健師等のマンパワーによる見守り、地域社会への参画機会の提供、治療通院継続の助成が必要である。		障害者自立支援法は、障害種別にかかわりのない共通の給付や支援に関する事項を規定し障害児、障害者が自立した生活を営むことができるようにしようとしている。利用者負担に関しては、低所得者への配慮がなされているものの、精神障害者への現状を鑑み引き続き支援が必要である。		
二次評価者コメント 役職 保健福祉部長 氏名 鷗川 晃匠	精神障害者への福祉サービスは、身体障害者や知的障害者に対するサービスと比べると著しく遅れている。精神障害者が利用できる制度・サービスの充実とともに、障害者に対する偏見や差別をなくするための環境づくりが急務となっている。平成20年度予算の方向性としては、障害者の自立支援を強化することとして前年度並みの配分とする。				平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分